

2025年6月3日

各 位

株式会社 山口フィナンシャルグループ
株式会社 も み じ 銀 行
株式会社 YMFG ZONEプランニング

環境省「第6回 脱炭素先行地域」への北広島町との共同提案および選定について

山口フィナンシャルグループ（代表取締役社長CEO 棕梨 敬介）の子会社であるもみじ銀行（頭取 平中 啓文）、YMFG ZONEプランニング（代表取締役 藏重 嘉伸）は、環境省が実施する「第6回 脱炭素先行地域」に北広島町と共同提案を行い、「脱炭素先行地域」へ選定されましたので、下記のとおりお知らせします。

広島県内の「脱炭素先行地域」の選定は東広島市に続き2件目となり、今後、小水力発電の導入支援と官民連携による知見共有を通じて、再生可能エネルギーの普及と地域経済の活性化を推進します。さらに、収益を子育て施設の充実に活用し、定住促進に繋げてまいります。

記

1. 提案概要

- (1) 提案名 水と共生するまちづくり
～町と県が連携した行政主導型小水力開発～
- (2) 提案者 広島県北広島町、広島県、一般社団法人北広島町地域エネルギー会社、
北広島小水力発電株式会社、もみじ銀行、YMFG ZONEプランニング

(3) 取り組みの全体像（詳細は別紙参照）

小水力発電の開発を行政主導で推進し、導入から維持管理までを一括で支援するスキームを構築し、開発事業者の参入を促すことで町外からの投資を呼び込むとともに、県や小水力発電を研究する官民連携プラットフォームの広島CSVラボとも連携し、知見・ノウハウをオープンソース化し、県内外に発信することで小水力発電を強力に展開します。

加えて、子育て関連施設が集積するエリアを対象とし、北広島町地域エネルギー会社が安価な再エネ供給を行うとともに、得られた収益を還元して子育て関連施設でのサービス拡充に活用し、小水力発電への理解醸成を図りながら子育て世帯の定住促進を目指します。

2. 山口フィナンシャルグループにおける脱炭素先行地域への関与

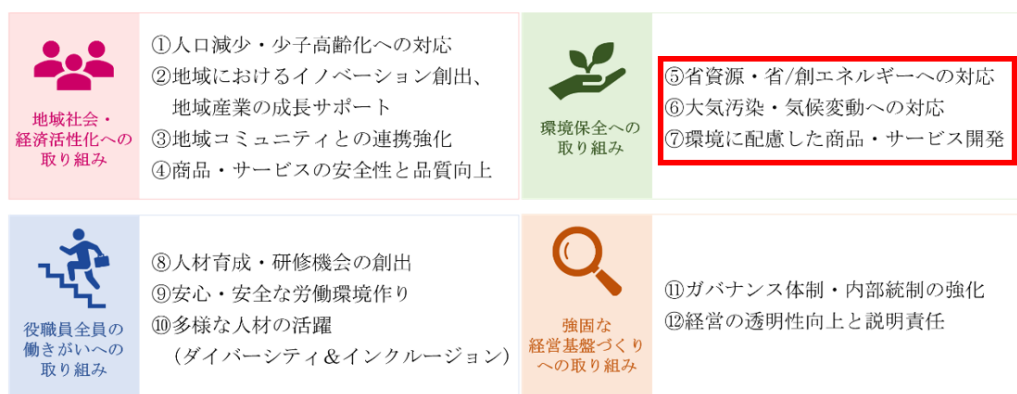
社名	想定する主な役割
もみじ銀行	・地域エネルギー会社の事業推進に関するファイナンスの検討 ・地域事業者が連携した事業検討および実施に関する財務を起点とした助言および経営支援 ・本計画の小水力発電の事例創出に対する、投資判断に必要な情報の整理

YMFG ZONEプランニング	・行政伴走型小水力開発に係る地域経済循環効果検証の支援 ・こどもの遊び場など各種文教施設等においてPPP／PFI手法を用いた整備の検討を支援
-----------------	---

※実施する具体的な施策および役割の詳細については、今後検討してまいります。

3. 山口フィナンシャルグループのサステナビリティへの取り組み

山口フィナンシャルグループは、持続可能な社会の実現に貢献していくために、「グループサステナビリティ方針」を策定し、この方針に基づき、重点的に取り組むべきESG課題である「マテリアリティ」を特定しております。本件は、12のマテリアリティの中で「⑤省資源・省/創エネルギーへの対応」、「⑥大気汚染・気候変動への対応」、「⑦環境に配慮した商品・サービス開発」の実現に資する取り組みです。



以 上

【本件に関するお問い合わせ先】

もみじ銀行 事業性評価部 担当：佐藤 TEL 070-1292-7764
 YMFG ZONEプランニング 担当：梶原 TEL 080-7417-4577

北広島町：水と共生するまちづくり ～町と県が連携した行政主導型小水力開発～

脱炭素先行地域の対象： **芸北エリア、千代田エリア、豊平エリア**
 主なエネルギー需要家：戸建住宅(775戸)・集合住宅(566戸)、民間施設(96施設)、公共施設(60施設)
 共同提案者：広島県、一般社団法人北広島町地域エネルギー会社、北広島小水力発電株式会社、もみじ銀行、YMFG ZONE プランニング

取り組みの全体像

水利権の取得や採算性等の観点から取り組みが進みづらい一方で、**豊富にある地域資源を活用**するため、**小水力発電の開発**を行政主導で推進。導入から維持管理までを一括で支援するスキーム（町内の導入ポテンシャルの公表や関係者との合意形成・許認可への支援、地元施工事業者の紹介・工事に対する町単費の補助、**固定資産税の軽減等**）を構築し、開発事業者の参入を促すことで町外からの投資を呼び込み、地域活性化に繋げる。同時に、県や小水力発電を研究する官民連携プラットフォームの**広島CSVラボ**とも連携し、**開発マニュアル**を策定、**知見・ノウハウをオープンソース化**し県内外に発信するほか、**県が県内市町に小水力発電を強力に展開**する。加えて、町の中心エリアで子育て関連施設が集積するエリアを対象とし、**北広島町地域エネルギー会社が安価な再エネ供給**を行うとともに、得られた**収益を還元**して子育て関連施設でのサービス拡充に活用し、**小水力発電への理解醸成**を図りながら**子育て世帯の定住促進**を目指す。

1. 民生部門電力の脱炭素化に関する主な取り組み

- 小水力発電の導入を一括で支援するスキームを町が構築し、行政主導型小水力発電を3基整備(約1,200kW)
- 老朽化した町有の小水力発電1基をリパワリングし、発電容量の増強と発電効率の向上(約800kW)
- 県・広島CSVラボと連携し、町が構築したスキームの発展に取り組むとともに小水力発電開発のマニュアルの策定や事業者等のマッチング等を行うほか、知見・ノウハウをオープンソース化
- 防災拠点となる運動公園やオンサイト太陽光発電設備(約550kW)や工業団地用地跡を活用したオフサイト太陽光発電設備(約1,800kW)・蓄電池を導入
- 町内最大の保育施設のZEB化等を行うとともに、北広島町地域エネルギー会社が安価な再エネ電力を供給

行政主導の一括支援スキーム

町営小水力発電所

ZEB化予定保育施設で遊ぶ園児

2. 民生部門電力以外の脱炭素化に関する主な取り組み

- 学校のクラブ活動の集約化に伴い、EVバスを導入し、平時はエネルギーマネジメントを活用するとともに児童の送迎を行う。また、非常時はインフラ施設への移動蓄電池として活用

3. 取り組みにより期待される主な効果

- 小水力発電の導入から維持管理までを一括して支援するスキームを構築することにより、合意形成等の調整コスト低減や固定資産税軽減等による資金負担減に繋がり、開発事業者の参入が促され、町外からの投資の呼び込み、地域活性化に貢献
- 県が小水力発電の取組を県内市町に2030年を待たずに横展開。また広島CSVラボに参画するメンバーにより、県外へ知見・ノウハウを展開
- 北広島町地域エネルギー会社が得た収益を還元し、子育て関連施設の預かり時間の延長や利用料低減等のサービス拡充に活用し、子育て世帯の定住促進を目指す。併せて、学校教育や親子参加型イベントで小水力発電の取組を紹介し、小水力発電への理解醸成を図る
- 運動公園での自立電源の確保と、EVバス（移動用蓄電池）を活用したエネマネを実施することによる防災レジリエンス強化

4. 主な取り組みのスケジュール

2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度
既存小水力発電設備リパワリング(1基)					
		小水力発電設備導入(2基)			小水力発電設備導入(1基)
	県・広島CSVラボと連携した開発マニュアル作成		知見・オープンソース化		
		町のスキームや広島CSVラボの知見・ノウハウ等を生かした県による横展開			
		オンサイト/オフサイト太陽光発電設備・蓄電池導入			
			EVバス導入		エネマネに活用